

平成27 (2015) 年度

大学院前期博士課程(修士課程)

学 生 募 集 要 項

◆ 経営学研究科

◆ 経済学研究科

◆ 法学研究科

◆ 文学研究科

◆ 理学研究科

◆ 工学研究科

◆ 生活科学研究科

※ 医学研究科、創造都市研究科、看護学研究科の募集要項は別途発行

大 阪 市 立 大 学

目 次

〈 一 般 選 抜 〉

1	募 集 人 員	1
2	出 願 資 格	1
3	事 前 相 談	2
4	出 願 書 類 等	2
5	出 願 方 法	3
6	選 抜 方 法	4
	(学 力 試 験)	
	経 営 学 研 究 科	4
	経 済 学 研 究 科	5
	法 学 研 究 科	6
	文 学 研 究 科	7
	理 学 研 究 科	9
	工 学 研 究 科	10
	生 活 科 学 研 究 科	12
7	受 験 上 ・ 修 学 上 の 配 慮 を 希 望 す る 者 の 出 願 に つ い て	13
8	合 格 者 発 表 等 に つ い て	13
9	入 学 手 続	14
10	学 費	14
11	注 意 事 項	14

〈 外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜 〉

1	募 集 人 員	15
2	出 願 資 格	15
3	事 前 相 談	15
4	出 願 書 類 等	15
5	出 願 方 法	17
6	選 抜 方 法	17
	(学 力 試 験)	
	経 営 学 研 究 科	17
	経 済 学 研 究 科	18
	法 学 研 究 科	19
	文 学 研 究 科	20
	理 学 研 究 科	22
	工 学 研 究 科	23
	生 活 科 学 研 究 科	24
7	受 験 上 ・ 修 学 上 の 配 慮 を 希 望 す る 者 の 出 願 に つ い て	25
8	合 格 者 発 表 等 に つ い て	25
9	入 学 手 続	26
10	学 費	26
11	注 意 事 項	26

〈 出 願 資 格 審 査 に つ い て 〉 27

〈 社 会 人 特 別 選 抜 学 生 募 集 の 概 要 〉 28

○ キ ャ ン パ ス ・ 交 通 案 内 図 29

○ 問 い 合 わ せ 先 裏 表 紙

●前期博士課程（修士課程）

前期博士課程（修士課程）の標準修業年限は2年です。

なお、法学研究科・文学研究科・理学研究科・生活科学研究科では、職業を有する、又は育児や介護等の事情により、標準修業年限を越えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、課程を修了することを認める長期履修学生制度があります。詳しくは学生サポートセンター各研究科教務担当（裏表紙参照）にお問い合わせください。

〈一般選抜〉

1 募集人員

研究科	専攻	入学定員	募集人員
経営学	グローバルビジネス	24	14
経済学	現代経済	16	16
法学	法学政治学	15	15
文学	哲学歴史学	14	14
	人間行動学	16	16
	言語文化学	22	22
	アジア都市文化学	8	8

研究科	専攻	入学定員	募集人員
理学	数物系	29	29
	物質分子系	34	34
	生物地球系	29	29
工学	機械物理系	33	33
	電子情報系	50	50
	化学生物系	33	33
	都市系	45	45
生活科学	生活科学	48	48

・医学研究科、創造都市研究科及び看護学研究科の募集要項は、別途発行します。

- 注1 学力試験の成績により、合格者数が募集人員に達しない場合があります。
- 2 研究科（専攻）により再募集することがあります。その場合、募集要項は平成26年12月頃に配付する予定です（試験実施は平成27年2月～3月の予定）。
- 3 経営学研究科・経済学研究科・法学研究科・理学研究科・工学研究科については、推薦入学特別選抜制度を設けています。各研究科の募集人員は若干名です（上記入学定員に含みます）。
- 4 経営学研究科・経済学研究科・法学研究科・文学研究科・理学研究科・生活科学研究科については、社会人を対象とした特別選抜があります。社会人特別選抜の募集人員は上記入学定員に含みます。社会人特別選抜の概要については、28ページを参照の上、各研究科個別の学生募集要項で確認してください。経済学研究科・法学研究科・文学研究科・理学研究科及び生活科学研究科は、社会人特別選抜との併願を認めません。
- なお、社会人特別選抜の詳細については学生サポートセンター各研究科教務担当にお問い合わせください。

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び平成27年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学位授与機構又は大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び平成27年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成27年3月までに修了見込みの者
- (4) 昭和28年文部省告示第5号をもって文部大臣の指定した者
- (5) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が別に定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成27年3月までに修了見込みの者
- (6) 平成27年3月末で、大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、当該研究科において所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者
- (7) 当該研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成27年3月31日現在において22歳以上の者

注1 出願資格(6)、(7)により出願しようとする者は、出願資格の認定のため、「出願資格審査申請書」などの提出を必要としますので、事前に学生サポートセンター各研究科教務担当に申し出の上、平成26年7月9日（水）までに必ず学生サポートセンター各研究科教務担当に必要書類を提出してください（「出願資格審査について」27ページを参照してください）。

2 2出願資格(7)については、短期大学、高等専門学校、各種学校の卒業生や外国大学日本分校等の修了者など大学卒業資格を有していない者であっても、当該研究科において個人の能力の個別審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者です。

3 事前相談

入学志願者は、出願前に、希望する研究指導教員に必ず相談してください。事前相談がない場合、出願が認められない場合があります。研究指導教員の連絡先は学生サポートセンター各研究科教務担当にお問い合わせください（各研究科教務担当の電話番号等は、裏表紙にあります）。

経営学研究科・経済学研究科については、研究指導教員への相談は不要です。文学研究科は、アジア都市文化学専攻を除いて、研究指導教員への相談は不要です。

4 出願書類等

(1) 出願書類等（共通）

1	入学願書 (写真2枚)	<p>① 本学所定の用紙を用い、黒のボールペン（消せるボールペン等は不可）を使用し、本人が記入してください。</p> <p>② ※印の欄は記入しないでください。</p> <p>③ 受験票と写真票には、縦4cm×横3cmの同じ写真（上半身、無帽で出願日より3か月以内に撮影したもの）をそれぞれ貼ってください。</p> <p>④ 「志望専門分野名」欄と「受験科目」欄には、6選抜方法 学力試験（4ページ以下）の「願書記入上の注意」をよく読んで、指定された欄のみ記入してください。</p> <p>⑤ 出願後の記載の変更は認めません。</p>
2	卒業（見込）証明書	出身大学長、又は学部長等が作成したもの。（※1） （但し、出願する研究科の基礎となる本学学部卒業（見込）の者〔例えば、経営学研究科の場合は商学部〕、及び2出願資格（6）、（7）に該当する者は提出する必要がありません。）
3	成績証明書	出身大学長、又は学部長等が作成したもの。（※1） （但し、出願する研究科の基礎となる本学学部卒業（見込）の者〔例えば、経営学研究科の場合は商学部〕、及び2出願資格（6）、（7）に該当する者は提出する必要がありません。）
4	学位授与証明書 又は 学位授与申請受理証明書	2出願資格（2）に該当する者は、提出すること。（※1） （10月に授与申請を行う者は、出身学校長等が作成した「学位授与申請予定者である旨の証明書（様式は任意）」を提出すること。）
5	受験票等 送付用封筒	本学所定の封筒に 362円 分の切手を貼り、受験票等送付先の郵便番号、住所及び氏名を記入したもの。
6	出願資格認定通知書	2出願資格（6）、（7）により出願する者のみ提出。
7	入学検定料	30,000円 郵便局の窓口で、本学所定の郵便振替払込票にて納付してください。 ※14ページ 11注意事項(3)に該当する者以外には、既納の入学検定料は返還しません。

※1 旧姓(名)の証明書を使用する場合は、姓(名)が変わった理由を別紙に記載してください(様式任意)。

(2) 研究科ごとに必要な書類

《経営学研究科》

A	志望理由・ 研究計画書	経営学研究科所定の用紙を用い、記述し提出してください。
---	----------------	-----------------------------

《経済学研究科》

A	志望理由・ 研究計画書	経済学研究科所定の用紙を用い、研究計画等を記述の上、原本1部を提出してください。
---	----------------	------------------------------------------

《法学研究科》

A	志望理由書 研究計画書	法学研究科所定の用紙を用い、科目重視型方式の志願者は「志望理由書」を2部、課題重視型方式の志願者は「研究計画書」を4部提出してください。
---	----------------	----------------------------------------------------------------------

《文学研究科》

A	研究計画書 (全員)	志望専攻の専門分野について研究したこと及び今後研究を行いたいことを4,000字程度にまとめたもの。A4版(縦長)にワープロ等で横書きしてください(手書きも可)。1行あたりの字数、1ページあたりの行数等の様式、文章の構成は自由です。
---	---------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※出願時に「研究計画書」を提出できない場合は、次の手順で期日延長を認めます。

①B「文学研究科 必要事項記入用紙」に必要事項を記入。

②学生サポートセンター文学研究科教務担当に郵送 : 平成26年8月15日(金)の消印有効
学生サポートセンター文学研究科教務担当に直接持参 : 平成26年8月15日(金)17:00まで
(郵送の場合は、封筒に「研究計画書在中」と朱書きし、必ず郵便局で**特定記録速達郵便**により送付のこと。)

B	文学研究科 必要事項記入用紙 (全員)	文学研究科所定の用紙を用い提出してください。
C	卒業論文(写し) (卒業論文を提出した者のみ)	出身大学に提出した卒業論文の写し。
D	A、C以外の研究成果を示す論文等(写し) (希望者のみ)	A、C(研究計画書、卒業論文の写し)以外で、志望専攻の専門分野についての研究成果を示す論文等があれば、その写しを提出してください。

《工学研究科》

A	TOEIC 公式認定証原本 (*)	機械物理系専攻、化学生物系専攻、都市系専攻志願者のみ。平成24年8月1日から平成26年6月30日までに実施されたTOEICのスコアを有効とします。複数回受験した場合は、志願者がその中から一つを選択して出願時に提出してください。ただし、やむを得ない事情により出願時に提出できない場合には出願時に申立書(A4用紙・様式任意)を同封しTOEIC公式認定証原本は8月8日(金)まで(当日消印有効)に工学研究科教務担当まで書留速達郵便により送付してください。 団体特別受験制度TOEIC-IPのスコアは無効です。 一度、提出されたTOEIC公式認定証原本の差し替えは認めません。 また、提出されたTOEIC公式認定証原本は返却しません。
---	-------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(*) 写真のないものは無効とします。提出されたTOEIC公式認定証原本に不正が認められた場合は、入学許可後であっても入学を取り消します。

5 出 願 方 法

入学志願者は、入学検定料を納付し、出願書類を取りそろえ、本学所定の出願封筒(出願書類が入りきらない場合は、本学所定の出願封筒の表を切り取ったものを貼った封筒でもかまいません)を使用し、下記の送付先に必ず**書留速達郵便**により送付してください。ただし、本学に在学している者(研究生・研修生等を含む)については、下記出願期間中の10:00~15:00(12:00~12:45を除く)の時間に限り、学生サポートセンター各研究科教務担当に直接提出することができます(本学所定の出願封筒を使用し出願書類を提出すること)。

出 願 期 間	送 付 先
平成26年7月22日(火)~7月25日(金) 【25日必着】 ※ただし、7月24日(木)以前の発信局(日本国内)消印のある「書留速達郵便」に限り、期限後に到着した場合でも受理します。	〒558-8585 大阪市住吉区杉本3丁目3番138号 大阪市立大学 大学運営本部入試室

出願の受付が完了した者には「受験票」及び「受験上の注意」を発送します。

8月1日(金)頃に発送の予定ですので、1週間経過しても(経済学研究科については8月4日(月)時点)到着しない場合は、学生サポートセンター各研究科教務担当に連絡してください。

6 選 抜 方 法

入学者選抜は、学力試験の成績及び出願書類の内容を総合して行います。学力試験会場は、本学杉本キャンパス（JR阪和線杉本町〔大阪市立大学前〕駅下車）です。

なお、詳細は、受験票を送付する際に通知します。受験の際には、必ず受験票を持参してください。

(学 力 試 験)

● 経 営 学 研 究 科

《グローバルビジネス専攻》

9月8日(月)		9月9日(火)
10:00~12:00	13:10 ~ 15:10	10:00~
筆答試験	筆 答 試 験	口述試験
外 国 語 (100点) 英 語 語 学 辞 書 持ち込み不可 TOEFL iBTによる 代替可 (注2参照)	専門科目(出題分野)(200点) 下記の出題分野(A)から(J)それぞれから1問ずつ、 合計10問が出題されます。 10問のうち2問を選択し、各問1,000字以上で解答してく ださい。 ただし、解答文字数制限は、出題分野「(J)数学・統計学」 からの出題に対する解答には適用されません。	筆答試験の解 答と研究計画書 について行いま す。 (一人当たり 約15分)

- 注1 9月8日(月)の筆答試験の結果により、指定した者についてのみ口述試験を行います。
 該当者は、9月9日(火)9:30に経営学研究科支援室(商学部棟1階事務室)前で発表します。
- 2 外国語(英語)の試験で、受験者が以下のいずれかの試験方法を選択できるようにします。
- ① 入試日の英語の筆答試験を受験する。
 - ② TOEFL iBT (Internet-Based Test)を受験する。TOEFL iBTの成績(120点満点)を100点満点に換算して、入試の英語の評価点数として採用する。
 - ③ 入試日の英語の筆答試験とTOEFL iBTの両方とも受験した場合は、TOEFL iBTの成績(120点満点)を100点満点に換算して、入試の英語の筆答試験とTOEFL iBTの高い方の成績を入試の英語の評価点数として採用する。
- 3 TOEFL iBTの成績の使用を希望する場合、以下のすべての条件を満たすことが必要です。
- ① 入試で有効とするTOEFL iBTの成績は、入試を実施する年の前年の6月1日から当該年の5月31日までの1年間に受験したTOEFL iBTテストの成績とする。
 - ② 8月29日(金)までに経営学研究科に送付されたOfficial Score Report(公式スコア票)の成績を有効とする。
 平成27(2015)年度入試の場合は、平成25(2013)年6月1日から平成26(2014)年の5月31日までの1年間に受験したTOEFL iBTテストの成績が有効となります。TOEFLテスト事務局が有効とする2年ではありません。また、TOEFL PBT(Paper-Based Test)およびTOEFL-ITP(団体向け)の成績は不可とします。注意してください。
- 4 TOEFL iBTの成績の使用を希望する受験者は、志望理由・研究計画書にそのことを記載してください。記載されていない場合は、TOEFL iBTの成績は利用できません。
- 5 TOEFL iBTのOfficial Score Report(公式スコア票)が経営学研究科に送付されるよう手続きをする際、DIコード(Institution Code)およびDepartment Codeに、次の番号を用いてください。
 DIコード: 8914 Department Code: 82

出題分野

出題分野は、下記の(A)～(J)の分野とします。

(A)経営、(B)経営情報、(C)国際ビジネス、(D)金融、(E)流通、(F)産業、
 (G)会計、(H)経営分析、(I)経済学、(J)数学・統計学

● 経済学研究科

《現代経済専攻》

本研究科前期博士課程には、後期博士課程への進学あるいは長年の職業体験やライフワークの学問的成果への結実を目指して修士論文作成を目標とする「一般コース」と、現代経済に関する精深な知識を獲得して社会の諸分野で活躍する人材養成を目標とする「修士専修コース」が置かれています。後期博士課程へ進学を希望する場合は、一般コースを受験してください。修士専修コースから後期博士課程に進学することは出来ませんので、注意してください。

○ 一般コース

8月6日(水)		8月7日(木)
10:00 ~ 10:45	11:05 ~ 11:50	13:10 ~ 14:40
筆答試験		筆答試験
英語 I	英語 II	口述試験 筆答試験の解答・研究計画書について行います。 (一人当たり 約15分)
辞書1冊の持ち込み可。ただし、経済用語辞典、電子辞書等は不可。		
		経済理論1(マルクス経済学1) 経済理論2(マルクス経済学2) 経済理論3(近代経済学1) 経済理論4(近代経済学2) 計量経済学 経済史 経済政策 国際経済 上記の8問の中から1問を試験場で選択。

注 口述試験は、8月6日(水)の筆答試験の結果により、指定した者についてのみ行います。

該当者は、8月7日(木)13:30に経済学研究科支援室(経済学部棟1階事務室)前で発表します。

願書記入上の注意

- ① 「志望専門分野名」欄の1に、入学後研究指導を希望する教員の氏名を、2にその担当授業科目を記入してください(「大学院の概要」[別冊子]参照)。
- ② 「志望専門分野名」欄の3に、志望する履修コース名「一般コース」と記入してください。

○ 修士専修コース

8月6日(水)		8月7日(木)
11:05 ~ 11:50	13:10 ~ 14:40	14:00 ~
筆答試験		筆答試験
英語 II	経済理論1(マルクス経済学1) 経済理論2(マルクス経済学2) 経済理論3(近代経済学1) 経済理論4(近代経済学2) 計量経済学 経済史 経済政策 国際経済 上記の8問の中から1問を試験場で選択。	口述試験 筆答試験の解答・研究計画書について行います。 (一人当たり 約15分)
辞書1冊の持ち込み可。ただし、経済用語辞典、電子辞書等は不可。		

注 口述試験は、8月6日(水)の筆答試験の結果により、指定した者についてのみ行います。

該当者は、8月7日(木)13:30に経済学研究科支援室(経済学部棟1階事務室)前で発表します。

願書記入上の注意

- ① 「志望専門分野名」欄の1に、入学後研究指導を希望する教員の氏名を、2にその担当授業科目を記入してください(「大学院の概要」[別冊子]参照)。
- ② 「志望専門分野名」欄の3に、志望する履修コース名「修士専修コース」と記入してください。

《法学政治学専攻》

下記科目重視型（外国語1科目）、課題重視型（外国語なし）の方式があります。特に、研究者を志望する者は、科目重視型方式で受験してください。

なお、科目重視型方式で受験する者は「志望理由書」、課題重視型方式で受験する者は、「研究計画書」を提出してください【「4出願書類等」（3ページ）参照】。

科目重視型方式		課題重視型方式	
8月21日(木)		8月21日(木)	
9:00 ~ 12:00	14:30 ~ 16:00	9:00 ~ 10:30	13:00 ~
筆答試験	筆答試験	筆答試験	口述試験
下表の専門試験科目のうち、 2科目 を選択。 (各科目100点 合計200点)	外 国 語 英 語 ド イ ツ 語 フ ラ ン ス 語 中 国 語 から 1か国語 を選択。 (100点)	下表の専門試験科目のうち、 1科目 を選択。 (100点)	研究計画書及び筆答試験について行う。 (可否で判定する)

注1 課題重視型方式受験者について、実際の口述試験の開始時刻は、当日法学部棟2階事務室前に掲示します。

2 専門試験科目の選択の際には、「大学院において専攻する科目」を含めなければなりません。

3 専門試験科目の筆答試験については、「六法」1冊を貸与します。

4 外国語科目の筆答試験については、辞書1冊の持ち込みを可とします(ただし、電子辞書は不可)。

専門試験科目

法社会学、日本法制史、憲法、行政法、刑法、刑事訴訟法、刑事政策、民法、商法（商法総則、会社法）、民事訴訟法、倒産法、労働法、社会保障法、国際経済法、国際私法、英米法、ドイツ法、アジア法（中国法）、欧州政治外交史、政治学、国際政治

願書記入上の注意

- ① 志望専門分野名欄の1に、「大学院において専攻する科目」を記入してください。大学院において専攻可能な科目は、原則として上記の専門試験科目名と一致します。
- ② 受験科目欄「専門」には、受験する専門科目名を記入してください。
科目重視型方式受験者は、2科目
課題重視型方式受験者は、1科目
- ③ 科目重視型方式受験者は、受験科目欄「外国語」には、選択する外国語科目名を記入してください。
- ④ 研究指導教員名は、事前相談をおこなったうえで、記入してください。

● 文 学 研 究 科

《哲学歴史学専攻》

日時等 専門分野	9月3日(水)		9月4日(木)
	10:30 ~ 12:00	13:30 ~ 16:30	13:30 ~
	筆答試験 外国語(100点)	筆答試験 専門科目(200点) (出題分野)	口述試験 (100点)
哲 学	英語、ドイツ語、フランス語から 1か国語を選択	哲学概論・西洋哲学史	専門分野別に、筆答 試験及び提出された 論文等について行い ます(一人当たり約 30分)。
日本史学	英語、ドイツ語、フランス語、中 国語、ロシア語、韓国・朝鮮語か ら1か国語を選択	日 本 史 学	
東洋史学	英語、ドイツ語、フランス語、中 国語、ロシア語、韓国・朝鮮語か ら1か国語を選択	東 洋 史 学	
西洋史学	英語、ドイツ語、フランス語、 ロシア語から1か国語を選択	西 洋 史 学	

※ 各専門分野とも、専門科目の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

願書記入上の注意

「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照してください。
なお、出願時に選択した受験科目は、試験当日変更することはできません。

《人間行動学専攻》

日時等 専門分野	9月3日(水)		9月4日(木)
	10:30 ~ 12:00	13:30 ~ 16:30	13:30 ~
	筆答試験 外国語(100点)	筆答試験 専門科目(200点) (出題分野)	口述試験 (100点)
社会学	英語、ドイツ語、フランス語、中 国語、ロシア語、韓国・朝鮮語か ら1か国語を選択	社会学概論・社会学研究法(調 査法を含む)	専門分野別に、筆答 試験及び提出された 論文等について行い ます(一人当たり約 30分)。
心理学	英 語	心理学概論・心理学研究法	
教育学	英 語	教育学概論・教育方法学	
地理学	英 語	地 理 学	

※ 各専門分野とも、専門科目の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

願書記入上の注意

「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照してください。
なお、出願時に選択した受験科目は、試験当日変更することはできません。

《言語文化学専攻》

日時等 専門分野	9月3日(水)		9月4日(木)
	10:30～12:00	13:30～16:30	13:30～
	筆答試験 外国語(100点)	筆答試験 専門科目(200点) (出題分野)	口述試験 (100点)
国語国文学	英語、ドイツ語、フランス語、 中国語、ロシア語、韓国・朝 鮮語から 1か国語 を選択	国文学・国語学	専門分野別に、筆 答試験及び提出 された論文等に ついて行います (一人当たり約 30分)。
中国語中国文学	中国語	中国文学・中国語学・中国語文化学	
英語英米文学	英語	英米文学・英語学・英米文化学	
ドイツ語 フランス語圏 言語文化学	ドイツ語、フランス語、英語、 ロシア語から 1か国語 を選択	ドイツ語圏文学・ドイツ語学・ド イツ語圏文化学 フランス語圏文学・フランス語 学・フランス語圏文化学 ※※	
言語応用学	英語	言語応用学 (言語理論・言語応用論・言語比 較論・言語教育論等)	
表現文化学	英語、ドイツ語、フランス語、 中国語、ロシア語、韓国・朝 鮮語から 1か国語 を選択	表現文化学 (文化理論・表現文化論・表象文 化論・比較表現論等)	

※ 各専門分野とも、専門科目の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

※※ ドイツ語圏言語文化学を主として専攻する場合はドイツ語圏文学・ドイツ語学・ドイツ語圏文化学を、フランス語圏言語文化学を専攻する場合はフランス語圏文学・フランス語学・フランス語圏文化学を選択すること。

願書記入上の注意

「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照してください。
なお、出願時に選択した受験科目は、試験当日変更することはできません。

《アジア都市文化学専攻》

日時等 専門分野	9月3日(水)		9月4日(木)
	10:30～12:00	13:30～16:30	13:30～
	筆答試験 外国語(100点)	筆答試験 専門科目(200点) (出題分野)	口述試験 (100点)
アジア都市文化学	英語、中国語、韓国・朝 鮮語から 1か国語 を選択	アジア都市文化学 (アジアの都市と文化に関する 基礎的問題)	筆答試験及び提出さ れた論文等につい て行います(一人当 たり約30分)。

※ 専門科目の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

願書記入上の注意

「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照してください。
なお、出願時に選択した受験科目は、試験当日変更することはできません。

● 理 学 研 究 科

《数物系専攻》

9月3日(水)			9月4日(木)
9:30～12:00	13:00～15:30	16:00～17:20	10:00～
筆答試験	筆答試験	筆答試験	口述試験
基礎的分野	専門分野	英 語	専門科目、卒業研究等
数学又は物理学	数学又は物理学		

注 筆答試験の結果により、指定された者についてのみ口述試験を行います。該当者は、9月4日(木) 9:30に試験会場で発表します。

願書記入上の注意

- ① 「志望専門分野名」欄の1～3に、次の専門分野から一分野ずつ選んで志望する順に講座番号と専門分野を記入してください。専門分野が未定の場合は講座番号のみを記入してください(専門分野の研究内容については、「大学院の概要」[別冊子]を参照してください)。

講座番号	講 座 名	専 門 分 野
A 1	数 理 構 造 論	代数系、表現論、多様体論、位相幾何学、微分幾何学
A 2	数 理 解 析 学	複素解析学、確率論、応用数学、代数解析学、偏微分方程式
A 3	基 礎 物 理 学 (理 論)	素粒子論、原子核理論、宇宙物理、数理物理
A 4	宇宙・高エネルギー 物理学(実験)	宇宙線物理学、高エネルギー物理学、宇宙・素粒子実験物理学、重力波実験物理学
A 5	物 性 物 理 学	超低温物理学(実験)、光物性物理学(実験)、生体・構造物性物理学(実験)、素励起物理学(理論)、電子相関物理学(理論)

- ② 「受験科目」欄には記入する必要はありません。
③ 「研究指導教員名」欄には、事前相談をおこなった教員名(複数可)を記入してください。

《物質分子系専攻》

9月3日(水)		9月4日(木)
9:30～12:00	13:00～14:20	10:00～
筆答試験	筆答試験	口述試験
専門分野	英 語	専門科目、卒業研究等
化学		

願書記入上の注意

- ① 「志望専門分野名」欄、「受験科目」欄には記入する必要はありません。
② 「研究指導教員名」欄には、事前相談をおこなった教員名(複数可)を記入してください。

《生物地球系専攻》

9月3日(水)		9月4日(木)
9:30～12:00	13:00～15:30	10:00～
筆答試験	筆答試験	口述試験
英 語	専門科目	専門科目、卒業研究等
	生物学又は地球科学	

願書記入上の注意

- ① 「志望専門分野名」欄の1～3に、次の専門分野から一分野ずつ選んで志望する順に講座番号と専門分野を記入してください(専門分野の研究内容については、「大学院の概要」[別冊子]を参照してください)。

講座番号	講 座 名	専 門 分 野
C 1	生物分子機能学	代謝調節機能学、生体低分子機能学、生体高分子機能学
C 2	生体機能生物学	動物機能生物学、植物機能生物学、細胞機能学
C 3	自然誌機能生物学	動物機能生態学、植物機能生態学、情報生物学、植物進化適応学
C 4	環 境 地 球 学	人類紀自然学、都市地盤構造学、地球情報学
C 5	地球物質進化学	地球物質学、岩石学、地球史学

- ② 「受験科目」欄には記入する必要はありません。
③ 「研究指導教員名」欄には、事前相談をおこなった教員名(複数可)を記入してください。

工 学 研 究 科

《機械物理系専攻》

8月20日(水)		8月21日(木)
10:00 ~ 12:00	13:30 ~ 16:30	10:00 ~
筆答試験 基礎科目	筆答試験 専門科目	口述試験
基礎数学、一般力学 (各科目 100点、合計 200点)	材料力学、熱力学、流体力学、機械力学、 制御工学、材料工学、材料科学の中から 3科目選択 (各選択科目 100点、合計 300点)	選択した研究テーマに ついて (50点)

※ 外国語(英語)の能力は、TOEICのスコアにより評価します(200点)。

※ 受験しない試験がある場合には不合格となります。

※ 各試験科目の出題範囲キーワード

1. 基礎科目

基礎数学：線形代数(行列式、基底、固有値)、微積分(極値問題、陰関数の定理・逆関数の定理、多重積分・累次積分、曲面の面積)

一般力学：質点の力学、質点系の力学、剛体の力学

2. 専門科目

材料力学：応力とひずみ、引張りと圧縮、熱応力、はりの曲げ、ねじり、組み合わせ応力、ひずみエネルギー

熱力学：熱力学第1法則及び第2法則、熱力学の一般関係式、理想気体、ガスサイクル、蒸気サイクル

流体力学：静水圧、連続の式、ベルヌーイの定理、運動量の法則、管路内の流れ、完全流体の流れ、粘性流れの基礎

機械力学：1自由度系の振動、多自由度系の振動

制御工学：連続系、離散系、伝達関数、時間応答、周波数応答、安定判別、位相補償、PID制御

材料工学：組織と機械的性質、状態図、格子欠陥、熱処理、加工法

材料科学：物質の構造、化学結合、電子構造、格子振動、回折現象

願書記入上の注意

① 「志望専門分野名」欄の1～3に、「大学院の概要」[別冊子]に記載された研究テーマ番号と研究テーマ名を志望する順に記入してください。

② 受験科目欄は記入不要です。

③ 志望先の研究テーマ名と専門科目で選択する科目の対応は問いません。

④ 教員の受入可能学生数から、第一志望の研究テーマで合格できないことがあります。

⑤ 研究指導教員名は、事前相談をおこなったうえで記入してください。

《電子情報系専攻》

科目 類	8月20日(水)		8月21日(木)	
	9:00 ~ 12:00	13:30 ~ 16:30	9:00 ~ 10:30	14:00 ~
	筆答試験	筆答試験	筆答試験	口述試験
	基礎科目(200点)	専門科目(200点)	外国語(100点)	(100点)
第1類(電子物理系) パワーエレクトロニクス 材料計測工学 光物性工学 物性制御工学 波動物理工学 応用分光計測学 ナノマテリアル工学 数理工学	電磁気学(第1類)、 電気回路学(第1類)、 統計力学、応用数学か ら3科目選択	固体物理学、半導体工 学、量子力学、量子統 計力学、電子回路学か ら2科目選択	英 語	選択した研究 テーマについ て行います。 (一人当たり 約10分)
第2類(電気情報系) 光電子工学 電磁デバイス工学 電子情報システム工学 情報処理工学 知識情報処理工学 情報ネットワーク工学 マルチメディア工学 通信システム工学	電磁気学(第2類)、 電気回路学(第2類)、 解析、線形代数、確率 統計すべてを解答	電気情報Ⅰ、電気情報 Ⅱの両方を解答。それ ぞれ、エレクトロニク ス、情報通信、情報処 理に関する問題		

※ 一定の基準を満たさない科目がある場合に不合格となることがあります。

願書記入上の注意

① 「志望専門分野名」欄の1～3に、「大学院の概要」[別冊子]に記載された研究テーマ番号と研究テーマ名を志望する順に記入してください。類が異なる研究テーマを同時に志望することはできません。

② 受験科目欄の「基礎」欄1と「専門」欄1のそれぞれに志望研究テーマが属する類、すなわち、第1類又は第2類と記入してください。「基礎」欄と「専門」欄には同じ類を記入してください。

③ 教員の受入可能学生数から、第一志望の研究テーマで合格できないことがあります。

④ 研究指導教員名は、事前相談をおこなったうえで記入してください。

《化学生物系専攻》

8月20日(水)	8月21日(木)
13:30 ~ 17:00	13:00 ~
筆答試験	口述試験
無機化学・物理化学(4問)、有機化学(3問)、生化学(3問)、細胞生物学(3問)、高分子化学(1問)の計14問から7問を選択。 (350点)	化学あるいは生物化学について行います。 (一人当たり約10分) (100点)

※ 外国語(英語)の能力は、TOEICのスコアにより評価します(150点)。

※ 受験しない試験がある場合には不合格となります。

願書記入上の注意

- ① 「志望専門分野名」欄の1、2に、「大学院の概要」[別冊子]に記載された研究テーマ番号と研究テーマ名を志望する順に記入してください。なお、必ずしも第一志望分野に受け入れられるとは限りません。
- ② 「受験科目」欄は記入不要です。
- ③ 研究指導教員名は、事前相談をおこなったうえで記入してください。

《都市系専攻》

8月20日(水)		8月21日(木)																													
9:00 ~ 12:00	13:30 ~ 16:30	13:30 ~																													
筆答試験	筆答試験	口述試験																													
基礎科目	専門科目																														
下記の2科目から1つを選択(200点)。 ● 建築学基礎 ● 都市学基礎	下記の13科目から志望する研究テーマに対応する1科目を選択(300点)。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>研究テーマ番号</th> <th>科目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>建築計画・建築構法</td></tr> <tr><td>2</td><td>建築デザイン・建築史</td></tr> <tr><td>3</td><td rowspan="2">都市計画・都市基盤計画</td></tr> <tr><td>4</td></tr> <tr><td>5</td><td>建築環境工学</td></tr> <tr><td>6</td><td>環境図形科学</td></tr> <tr><td>7</td><td>地域環境計画</td></tr> <tr><td>8</td><td>環境生態工学</td></tr> <tr><td>9</td><td>水処理工学・廃棄物処理工学</td></tr> <tr><td>10</td><td>建築防災・風工学</td></tr> <tr><td>11</td><td>建築構造学</td></tr> <tr><td>12</td><td>構造工学・橋梁工学</td></tr> <tr><td>13</td><td>地盤工学</td></tr> <tr><td>14</td><td>河川・海岸・水工学</td></tr> </tbody> </table>	研究テーマ番号	科目名	1	建築計画・建築構法	2	建築デザイン・建築史	3	都市計画・都市基盤計画	4	5	建築環境工学	6	環境図形科学	7	地域環境計画	8	環境生態工学	9	水処理工学・廃棄物処理工学	10	建築防災・風工学	11	建築構造学	12	構造工学・橋梁工学	13	地盤工学	14	河川・海岸・水工学	志望する専門分野の指示にしたがって、卒業研究の概要(A4用紙1枚:コピー10部)又は、設計演習等の成果物を持参すること。 口述試験は上記をもとに行います(100点)。 (一人当たり約10分)
研究テーマ番号	科目名																														
1	建築計画・建築構法																														
2	建築デザイン・建築史																														
3	都市計画・都市基盤計画																														
4																															
5	建築環境工学																														
6	環境図形科学																														
7	地域環境計画																														
8	環境生態工学																														
9	水処理工学・廃棄物処理工学																														
10	建築防災・風工学																														
11	建築構造学																														
12	構造工学・橋梁工学																														
13	地盤工学																														
14	河川・海岸・水工学																														

※ 外国語(英語)の能力は、TOEICのスコアにより評価します(100点)。また筆答試験と口述試験には一定の合格基準を設けています。

※ 建築学基礎: 建築計画・建築構法、建築デザイン・建築史、建築環境工学、建築防災・風工学、建築構造学の5つの領域から出題します。

※ 都市学基礎: 都市学科で提供している都市史、計画論、都市計画、環境計測学、都市エネルギー工学、環境生態学、構造力学I、土質力学I、水理学の計9問から7問を選択。

願書記入上の注意

- ① 「志望専門分野名」欄の1、2(第一志望のみの者は1のみ)に、「大学院の概要」[別冊子]に記載された研究テーマ番号と研究テーマ名を志望する順に記入してください。研究テーマごとの指導学生数の上限を設けています。詳細は「大学院の概要」[別冊子]を参照してください。
- ② 受験科目欄「基礎」に選択する基礎科目を一つ記入してください。
- ③ 受験科目欄「専門」に第一志望の研究テーマ番号に対応する専門科目を1科目のみ選択して記入してください。
- ④ 研究指導教員名は、事前相談をおこなったうえで記入してください。

● 生活科学研究科

入学志願者は、志望する専門科目の選択にあたっては、「大学院の概要」〔別冊子〕を参照の上、志望専門科目の教員に必ず事前に相談してください。志望専門科目の担当教員連絡先は、学生サポートセンター生活科学研究科教務担当（裏表紙参照）にお問い合わせください。ただし、臨床心理学コースは6月24日（火）16：30より事前説明会を行いますので、その場で相談してください。

《生活科学専攻》

日時等 履修 コース名	8月26日（火）			8月27日（水）
	10：00～11：30	12：30～14：00	14：30～16：00	10：00～
	筆答試験			口述試験
	<専門>	<外国語>	<基礎>	
食・健康科学	志望する専門科目を 1科目選択 食品微生物学 栄養医科学 栄養教育学 公衆栄養学 生体情報学 病態栄養学 臨床栄養学 給食経営管理論 生化学 食品衛生科学 生体機能学	英語	次の4科目から 1科目選択 化学 生化学 解剖生理学 生物学	志望する専門について行います。 （一人当たり約10分）
居住環境学	志望する専門科目を 1科目選択 まちづくり学 住生活学 ハウジング 居住文化史 居住空間設計学 居住福祉計画学 住居人類学 医療福祉環境設計学 居住人間工学 居住環境工学 居住環境調整材料学 居住環境材料感性学 住居構工法	英語	次の3科目から1科目を 選択 居住システムデザイン学 （住居学・計画学に関する 問題） 居住福祉デザイン学 （住居・施設設計学、人間 工学、安全工学に関する 問題） 居住エコロジー環境学 （居住材料・構造学、居住 環境工学に関する問題）	志望する専門について行います。 （一人当たり約10分）
総合福祉科学	志望する専門科目を 1科目選択 社会福祉学 共生福祉社会学 ワークライフバランス政策学 先端ケア学 家族政策論 コミュニティ福祉学	英語	次の2科目必須 福祉基礎1 福祉基礎2 （社会学・心理学・ 教育学・経済学・ 社会福祉学に関する 問題）	志望する専門について行います。 （一人当たり約10分）
臨床心理学	志望する専門科目を 1科目選択 発達臨床心理学 心理臨床学 高齢期臨床心理学 周産期家族臨床学 教育臨床学	英語	次の2科目必須 心理学1 心理学2	志望する専門について行います。 （一人当たり約10分） ◎口述試験は、26日（火）の筆答試験の結果により指定した者のみ行います。該当者は、27（水）9：30に生活科学部棟で発表します。

※合否判定は、各科目100点満点の4割以上かつ全科目合計点6割以上の者の中から、口述試験を含めて総合的に行います。

願書記入上の注意

次の共通①～④及び各コースの⑤に従って記入してください。

【コース共通】

- ①「志望専攻名」欄に志望する履修コース名を記入してください。
- ②「志望専門分野名」欄の1に研究テーマを、2に専門科目を、3に担当教員(指導を希望する教員)名を記入してください。
※研究テーマ・専門科目及び担当教員名は「大学院の概要」[別冊子]に記載されています。
- ③受験科目「専門」欄の1に筆答試験<専門>欄より上記②と同じ専門科目を記入してください。
- ④受験科目「外国語」欄には記入する必要がありません。

【食・健康科学コース】

- ⑤受験科目「基礎」欄の1に、食・健康科学コースの<基礎>から1科目を選んで記入してください。

【居住環境学コース】

- ⑤受験科目「基礎」欄の1に、居住環境学コースの<基礎>から1科目を選んで記入してください。

【総合福祉科学コース】

- ⑤受験科目「基礎」欄には記入する必要がありません。

【臨床心理学コース】

- ⑤受験科目「基礎」欄には記入する必要がありません。

※臨床心理学コース……臨床心理士養成指定大学院の「更新手続中」のため、平成27年度本コースに入学し、必要な単位を修得のうえ修了した者は、臨床心理士受験資格取得できる「予定」です。

7 受験上・修学上の配慮を希望する者の出願について

障がい等を有する等の理由により、本学の受験上・修学上の配慮を希望する者は、平成26年7月10日(木)までに、志願する各研究科教務担当に申し出て相談してください。

なお、平成26年7月11日(金)以降においても、可能な限り対応いたしますが、できる限り7月10日(木)までに申し出てください。

8 合格者発表等について**(1) 合格者発表**

掲示・本学ホームページにより合格者の発表をおこないます。

研究科	日時(掲示・HP掲載期間)	場所(掲示)
経営学研究科	9月24日(水)10:00～9月30日(火)17:00	各研究科の 指定する場所
経済学研究科	8月21日(木)10:00～8月27日(水)17:00	
法学研究科	9月9日(火)10:00～9月15日(月)17:00	
文学研究科	9月26日(金)10:00～10月2日(木)17:00	
理学研究科	9月17日(水)10:00～9月23日(火)17:00	
工学研究科	9月5日(金)10:00～9月11日(木)17:00	
生活科学研究科	9月9日(火)10:00～9月15日(月)17:00	

本学ホームページでの合格発表

本学ホームページ(<http://www.osaka-cu.ac.jp/>)の『入試情報』に、合格者受験番号の一覧を掲載します。なお、いずれの発表方法についても電話等による可否の照会には一切応じません。

また、「合格者受験番号一覧表」の送付を希望する者は、受験票送付時に同封されている「受験上の注意」で案内しますので、確認してください。

※経済学研究科・文学研究科を受験した者については、合格発表日に「合格者受験番号一覧表」を発送します(返信用封筒を用意する必要はありません)。

(2) 合格通知書

合格発表日に、各研究科の指定する場所において、「合格通知書」及び「入学手続書類の交付について」をお渡しします。その際には「受験票」の提示が必要です。なお、合格者本人による書類の受け取りができない場合は、事前に学生サポートセンター各研究科教務担当へ連絡してください。

経済学研究科・文学研究科に合格した者には、合格発表日に、「合格通知書」及び「入学手続書類の交付について」を発送します(手渡しでの書類交付はありません)。

9 入学手続

入学手続日は、下記の日程でおこないます。研究科で入学手続日が異なりますので、ご注意ください。

①生活科学研究科

日時 平成 26 年 10 月 3 日 (金) 10:00~15:00 (ただし、12:00~12:45 を除く)
場所 入学手続の場所は、別途合格者に通知します。

②経営学研究科・経済学研究科・法学研究科・文学研究科・理学研究科・工学研究科

日時 平成 27 年 3 月 26 日 (木) 10:00~15:00 (ただし、12:00~12:45 を除く)
場所 入学手続の場所は、別途合格者に通知します。

10 学 費

現行の金額は次のとおりですが、平成 27 年度入学者の金額については変更されることがあります。

入学料	納付区分	「大阪市住民及びその子」注	222,000円
		「その他の者」	342,000円
授業料	年間	535,800円	(前期分 267,900円)

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用されます。

- 注 1 「大阪市住民及びその子」とは、入学者本人又は入学者本人と同一戸籍にある父母のいずれかが、平成 26 年 4 月 1 日以前から引き続き大阪市内に住所を有する者をいい、「入学料納付区分認定」の手続を行う必要があります。
日本国籍を有しない者も同一の要件です。
- 2 「大阪市住民及びその子」に該当する者は、本学所定の「入学料納付区分認定願」及び「住民票などの公的書類（平成 27 年 3 月中に交付を受けたもの）」を提出して入学料納付区分認定を受ける必要があります。詳細は入学手続書類交付日にお渡しする「入学料・授業料」を必ず参照してください。なお、入学料納付区分認定を受ける者は、認定を受けてから入学料を納付してください。

※納付された入学料については払い戻しいたしません。

なお、入学料及び授業料については、減免の制度があります。詳細については、入学手続書類交付日にお渡しする「入学料減免及び授業料減免・分納の取扱いについて」を参照してください。

11 注 意 事 項

- 出願受理後の出願取り消しは一切認めません。
 - 学力試験の結果に関する照会には応じません。
 - 既納の入学検定料は次の事由以外では返還しません。
 - 入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合
 - 出願書類の不備等により受理されなかった場合
 - 重複して入学検定料を払い込んだ場合
- ※ 返還の方法等は、出願期間最終日より 1 か月以内に大学運営本部入試室までお問い合わせください。
- 入学願書に虚偽の記載をした場合、又は入学試験において不正行為をしたことが判明した場合は、入学決定後であっても、許可を取り消すことがあります。
 - 1 ページの「2 出願資格 (6) (7)」による出願者で、当該研究科の定めた資格要件を満たさなかった場合は、本試験に合格しても入学を許可しません。
 - 本学では、出願・受験の過程において収集された個人情報について、入学試験・入学案内・入学手続関係・選抜方法研究・統計資料作成・本学での学生生活関連業務に関して必要とされる範囲で利用します。前述の業務以外で利用する場合は、必ず本人に了解を得た上で利用します。業務に必要な範囲で集められた個人情報を、第三者に提供することはありません。

過去の試験問題は、学生サポートセンター各研究科教務担当で閲覧できます。詳細は、学生サポートセンター各研究科教務担当にお問い合わせください(裏表紙参照)。

〈外国人留学生特別選抜〉

1 募集人員

経営学研究科・経済学研究科・法学研究科・文学研究科・理学研究科・工学研究科・生活科学研究科の各専攻について、**若干名**を募集します（各専攻名は、1ページの〈一般選抜〉で記載している「1 募集人員」を参照してください）。

2 出願資格

日本国籍を有しない者で、次の各号のいずれかに該当する者。

- (1) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成27年3月までに修了見込みの者（ただし、16年の課程を要しない国からの出願資格については事前に相談してください。）
- (2) 外国人留学生として日本の大学を卒業した者及び平成27年3月までに卒業見込みの者、又は専修学校の専門課程で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成27年3月までに修了見込みの者
- (3) 昭和28年文部省告示第5号をもって文部大臣の指定した者
- (4) 平成27年3月末で、外国人留学生として日本の大学に3年以上、又は外国において4年制大学に3年以上在学し、もしくは15年の課程を修了し、当該研究科において所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者
- (5) 当該研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成27年3月31日現在において22歳以上の者

注1 2出願資格(2)の専修学校の専門課程は修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。

2 2出願資格(4)(5)により出願しようとする者は、出願資格の認定のため、「出願資格審査申請書」などの提出を必要としますので、事前に学生サポートセンター各研究科教務担当に申し出の上、平成26年7月9日（水）までに必ず学生サポートセンター各研究科教務担当に必要な書類を提出してください（「出願資格審査について」27ページを参照してください）。

3 事前相談

入学志願者は、出願資格及び希望する研究指導教員について確認が必要ですので、出願前〔平成26年7月9日（水）まで〕に研究指導教員に必ず相談しておいてください。事前相談がない場合、出願が認められない場合があります。研究指導教員の連絡先は学生サポートセンター各研究科教務担当にお問い合わせください（各研究科の電話番号等は、裏表紙にあります）。

（経営学研究科・経済学研究科については、研究指導教員についての確認は不要です。）

4 出願書類等

(1) 出願書類等（共通）

1	・入学願書 ・受験票等送付用封筒 ・入学検定料	2ページに記載の〈一般選抜〉「4 出願書類等」を参照。
2	日本語の能力証明書	日本語の公的試験を受けた者は、成績表のコピーを提出。 日本語学校や大学で日本語の授業を受けた者は、修学に差し支えない程度に日本語を修得している旨、実際に指導を受けた教員により記載・押印されたものを提出（様式任意）。
3	旅券（パスポート）の写し	写真が掲載されているページと在留資格が掲載されているページのコピーを提出してください（在留資格がわかるようにコピーをとること）。 在留資格を所持していない場合は、写真掲載ページのみ提出してください。
4	出願資格認定書	2出願資格(4)(5)により出願する者のみ提出。
5	履 歴 書	本学所定の用紙を用い、黒のボールペン（消せるボールペン等は不可）を使用し、本人が記入してください。 ① 学歴は、学校教育全期間を記入してください。 ② 学校名及び入学・卒業年月日は、もれなく記入してください。 ③ 研究歴、職歴があれば記入してください。
6	成績証明書及び卒業（見込）証明書	最終出身（在籍）大学のもの。〈学士等の学位の記載のあるもの〉（但し、出願する研究科の基礎となる本学学部卒業（見込）の者〔例えば、経営学研究科の場合は商学部〕、及び2出願資格(4)(5)に該当する者は提出する必要がありません。） 注

注 和文、英文以外のものについては、公的機関（出身大学、日本語学校、大使館等）の証明のある翻訳文もあわせて提出してください。個人の署名や印では認められません。

(2) 研究科ごとに必要な書類

※ 経済学研究科及び文学研究科については、出身大学長等の推薦書は必要ありません。

《経営学研究科》

A	志望理由・ 研究計画書	経営学研究科所定の用紙を用い、志望理由及び研究計画等を記述の上、提出してください。
B	推薦書	最終出身（在籍）大学長、学部長、研究科長又は指導教授が作成の上、厳封したもの。

《経済学研究科》

A	志望理由・ 研究計画書	経済学研究科所定の用紙を用い、研究計画等を記述の上、提出してください。
---	----------------	-------------------------------------

《文学研究科》

A	研究計画書 (全員)	志望専攻の専門分野について研究したこと及び今後研究を行いたいことを日本語で4,000字程度にまとめたもの。A4版（縦長）にワープロ等で横書きしてください（手書きも可）。1行あたりの字数、1頁あたりの行数等の様式、文章の構成は自由です。
<p>※ 出願時に「研究計画書」を提出できない場合は、次の手順で期日延長を認めます。</p> <p>①B「文学研究科 必要事項記入用紙」に必要事項を記入。</p> <p>②学生サポートセンター文学研究科教務担当に郵送：平成26年8月15日（金）の消印有効 学生サポートセンター文学研究科教務担当に直接持参：平成26年8月15日（金）17:00まで （郵送の場合は、封筒に「研究計画書在中」と朱書きし、必ず郵便局で特定記録速達郵便により送付のこと。）</p>		
B	文学研究科 必要事項 記入用紙（全員）	文学研究科所定の用紙を用い提出してください。
C	卒業論文（写し） （卒業論文を課している 大学・学部を卒業 した者のみ）	出身大学に提出した卒業論文の写し。出身大学の学部長等が作成した「卒業論文の写しに相違ない旨の証明書」（様式任意）を表紙に貼ってください。卒業論文が日本語以外の場合は、出願者自身が作成した日本語の要旨を添付してください。要旨は2,000字以内で、A4版（縦長）にワープロ等で横書きしてください（手書きも可）。1行あたりの字数、1頁あたりの行数等の様式は自由です。
D	A、C以外の研究成果を 示す論文等（写し） （希望者のみ）	A、C（研究計画書、卒業論文の写し）以外で、志望専攻の専門分野についての研究成果を示す論文等があれば、その写しを提出してください。外国語で書かれたものでも構いません。

《理学研究科》

A	推薦書	最終出身（在籍）大学長、学部長、研究科長又は指導教授が作成の上、厳封したもの。
---	-----	-----------------------------------------

《工学研究科》

A	推薦書	最終出身（在籍）大学長、学部長、研究科長又は指導教授が作成の上、厳封したもの（本学工学部卒業（見込）の者は提出する必要がありません）。
B	TOEIC 公式認定証原本 （*）	機械物理系専攻、都市系専攻志願者のみ。平成24年8月1日から平成26年6月30日までに実施されたTOEICのスコアを有効とします。複数回受験した場合は、志願者の中から一つを選択して出願時に提出してください。ただし、やむを得ない事情により出願時に提出できない場合には出願時に申立書（A4用紙・様式任意）を同封しTOEIC公式認定証原本は8月8日（金）まで（当日消印有効）に工学研究科教務担当まで書留速達郵便により送付してください。 団体特別受験制度 TOEIC-IP のスコアは無効です。 一度、提出された TOEIC 公式認定証原本の差し替えは認めません。 又、提出された TOEIC 公式認定証原本は返却しません。

（*）写真のないものは無効とします。提出された TOEIC 公式認定証原本に不正が認められた場合は、入学許可後であっても入学を取り消します。

《生活科学研究科》

A	推薦書	最終出身（在籍）大学長、学部長、研究科長又は指導教授が作成したもの。
---	-----	------------------------------------

5 出願方法

入学検定料を納付し、15・16 ページに記載の「4 出願書類等 (1) 出願書類等 (共通)」の書類、及び「(2) 研究科ごとに必要な書類」を取りそろえ、本学所定の出願封筒を使用し、送付してください。出願手続きについては、3 ページに記載の〈一般選抜〉「5 出願方法」と同様です。

6 選抜方法

入学者選抜は、学力試験の成績及び出願書類の内容を総合して行います。学力試験会場は、本学杉本キャンパス (JR 阪和線杉本町 [大阪市立大学前] 駅下車) です。

なお、詳細は、受験票を送付する際に通知します。受験の際には、必ず受験票を持参してください。

(学 力 試 験)

● 経 営 学 研 究 科

《グローバルビジネス専攻》

9月8日(月)		9月9日(火)
10:00 ~ 12:00	13:10 ~ 15:10	10:00 ~
筆答試験	筆 答 試 験	口述試験
英 語 (100 点) 解答は、日本語で行い、表記はひらがな、ローマ字でも可。語学辞書持ち込み不可。 TOEFL iBT による 代替え可 (注 2 参照)	専門科目 (出題分野) (200 点) 下記の出題分野 (A) から (J) それぞれから 1 問ずつ、合計 10 問が出題されます。 10 問のうち 2 問を選択し、日本語 1,000 字程度で解答してください。 ただし、日本語の文字数制限は、出題分野「(J) 数学・統計学」からの出題に対する解答には適用されません。 語学辞書等持ち込み不可。	筆答試験の解答と研究計画書について行います。 (一人当たり 約 15 分)

注 1 9月8日(月)の筆答試験の結果により、指定した者についてのみ口述試験を行います。

該当者は、9月9日(火) 9:30 に経営学研究科支援室 (商学部棟 1 階事務室) 前で発表します。

2 英語の試験で、受験者が以下のいずれかの試験方法を選択できるようにします。

- ① 入試日の英語の筆答試験を受験する。
- ② TOEFL iBT (Internet-Based Test) を受験する。TOEFL iBT の成績 (120 点満点) を 100 点満点に換算して、入試の英語の評価点数として採用する。
- ③ 入試日の英語の筆答試験と TOEFL iBT の両方とも受験した場合は、TOEFL iBT の成績 (120 点満点) を 100 点満点に換算して、入試の英語の筆答試験と TOEFL iBT の高い方の成績を入試の英語の評価点数として採用する。

3 TOEFL iBT の成績の使用を希望する場合、以下のすべての条件を満たすことが必要です。

- ① 入試で有効とする TOEFL iBT の成績は、入試を実施する年の前年の 6 月 1 日から当該年の 5 月 31 日までの 1 年間に受験した TOEFL iBT テストの成績とする。
- ② 8 月 29 日 (金) までに経営学研究科に送付された Official Score Report (公式スコア票) の成績を有効とする。

平成 27 (2015) 年度入試の場合は、平成 25 (2013) 年 6 月 1 日から平成 26 (2014) 年の 5 月 31 日までの 1 年間に受験した TOEFL iBT テストの成績が有効となります。TOEFL テスト事務局が有効とする 2 年ではありません。また、TOEFL PBT (Paper-Based Test) および TOEFL-ITP (団体向け) の成績は不可とします。注意してください。

4 TOEFL iBT の成績の使用を希望する受験者は、志望理由・研究計画書にそのことを記載してください。記載されていない場合は、TOEFL iBT の成績は利用できません。

5 TOEFL iBT の Official Score Report (公式スコア票) が経営学研究科に送付されるよう手続きをする際、DI コード (Institution Code) および Department Code に、次の番号を用いてください。

DI コード : 8914 Department Code : 82

出題分野

出題分野は、下記の (A) ~ (J) の分野とします。

(A) 経営、(B) 経営情報、(C) 国際ビジネス、(D) 金融、(E) 流通、(F) 産業、
(G) 会計、(H) 経営分析、(I) 経済学、(J) 数学・統計学

● 経済学研究科

《現代経済専攻》

本研究科前期博士課程には、後期博士課程への進学あるいは長年の職業体験やライフワークの学問的成果への結実を目指して修士論文作成を目標とする「一般コース」と、現代経済に関する精深な知識を獲得して社会の諸分野で活躍する人材養成を目標とする「修士専修コース」が置かれています。後期博士課程へ進学を希望する場合は、一般コースを受験してください。修士専修コースから後期博士課程に進学することは出来ませんので、注意してください。

○ 一般コース

8月6日(水)		8月7日(木)
11:05 ~ 11:50	13:10 ~ 14:40	14:00 ~
筆答試験	筆答試験	口述試験
英語Ⅱ 辞書2冊(母語と英語1冊及び日本語と英語1冊)の持ち込み可。ただし、経済用語辞典、電子辞書等は不可。 解答を英語で記すことができる。	経済理論1(マルクス経済学1) 経済理論2(マルクス経済学2) 経済理論3(近代経済学1) 経済理論4(近代経済学2) 計量経済学 経済史 経済政策 国際経済 上記の8問の中から1問を試験場で選択。いずれの問に対しても、英語で解答することができる。	筆答試験の解答・研究計画書について行います。 (一人当たり約15分)

注 口述試験は、8月6日(水)の筆答試験の結果により、指定した者についてのみ行います。

該当者は、8月7日(木)13:30に経済学研究科支援室(経済学部棟1階事務室)前で発表します。

願書記入上の注意

- ① 「志望専門分野名」欄の1に、入学後研究指導を希望する教員の氏名を、2にその担当授業科目を記入してください(「大学院の概要」[別冊子]参照)。
- ② 「志望専門分野名」欄の3に志望する履修コース名「一般コース」と記入してください。

○ 修士専修コース

8月6日(水)	8月7日(木)
13:10 ~ 14:40	14:00 ~
筆答試験	口述試験
経済理論1(マルクス経済学1) 経済理論2(マルクス経済学2) 経済理論3(近代経済学1) 経済理論4(近代経済学2) 計量経済学 経済史 経済政策 国際経済 上記の8問の中から1問を試験場で選択。いずれの問に対しても、英語で解答することができる。	筆答試験の解答・研究計画書について行います。 (一人当たり約15分)

注 口述試験は、8月6日(水)の筆答試験の結果により、指定した者についてのみ行います。

該当者は、8月7日(木)13:30に経済学研究科支援室(経済学部棟1階事務室)前で発表します。

願書記入上の注意

- ① 「志望専門分野名」欄の1に、入学後研究指導を希望する教員の氏名を、2にその担当授業科目を記入してください(「大学院の概要」[別冊子]参照)。
- ② 「志望専門分野名」欄の3に志望する履修コース名「修士専修コース」と記入してください。

● 法 学 研 究 科

《法学政治学専攻》

8月21日(木)	
9:00 ~ 12:00	14:30 ~
筆答試験	口述試験
下表の専門試験科目のうち、 2科目 を選択。 (各科目100点、合計200点)	① 日本語での説明 (パーソナル・ヒストリーと留学の目的) ② 質疑応答 (合否で判定する)

- 注1** 実際の口述試験の開始時刻は、当日法学部棟2階事務室前に掲示します。
注2 専門試験科目の選択の際には、「大学院において専攻する科目」を含めなければなりません。
注3 専門試験科目の筆答試験については、「六法」1冊を貸与します。

専門試験科目	法社会学、日本法制史、憲法、行政法、刑法、刑事訴訟法、刑事政策、民法、商法(商法総則、会社法)、民事訴訟法、倒産法、労働法、社会保障法、国際経済法、国際私法、英米法、ドイツ法、アジア法(中国法)、欧州政治外交史、政治学、国際政治
--------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

願書記入上の注意

- ① 志望専門分野名欄の1に、「大学院において専攻する科目」を記入してください。大学院において専攻可能な科目は、原則として上記の専門試験科目名と一致します。
- ② 受験科目欄「専門」には、受験する専門試験科目名(2科目)を記入してください。
- ③ 研究指導教員名は、事前相談をおこなったうえで、記入してください。

● 文 学 研 究 科

《哲学歴史学専攻》

日時等 専門分野	9月3日(水)		9月4日(木)
	10:30 ~ 12:00	13:30 ~ 16:30	13:30 ~
	筆答試験 外国語(100点)	筆答試験 専門科目(200点) (出題分野)	口述試験 (100点)
哲 学	日本語 ※ 専門分野別に 出題されます。	哲学概論・西洋哲学史	専門分野別に、筆 答試験及び提出さ れた論文等につい て行います(一人 当たり約30分)。
日本史学		日 本 史 学	
東洋史学		東 洋 史 学	
西洋史学		西 洋 史 学	

※ 各専門分野とも、専門科目の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

願書記入上の注意

「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照してください。

《人間行動学専攻》

日時等 専門分野	9月3日(水)		9月4日(木)
	10:30 ~ 12:00	13:30 ~ 16:30	13:30 ~
	筆答試験 外国語(100点)	筆答試験 専門科目(200点) (出題分野)	口述試験 (100点)
社会学	日本語 ※ 専門分野別に 出題されます。	社会学概論・社会学研究法(調 査法を含む)	専門分野別に、筆 答試験及び提出さ れた論文等につい て行います(一人 当たり約30分)。
心理学		心理学概論・心理学研究法	
教育学		教育学概論・教育方法学	
地理学		地 理 学	

※ 各専門分野とも、専門科目の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

願書記入上の注意

「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照してください。

《言語文化学専攻》

日時等	9月3日(水)		9月4日(木)
	10:30 ~ 12:00	13:30 ~ 16:30	13:30 ~
	筆答試験		筆答試験
専門分野	外国語(100点)	専門科目(200点) (出題分野)	口述試験 (100点)
国語国文学	日本語 ※ 専門分野別に 出題されます。	国文学・国語学	専門分野別に、筆 答試験及び提出さ れた論文等につい て行います(一人 当たり約30分)。
中国語中国文学		中国文学・中国語学・中国文化学	
英語英米文学		英米文学・英語学・英米文化学	
ドイツ語 フランス語圏 言語文化学		ドイツ語圏文学・ドイツ語学・ド イツ語圏文化学 フランス語圏文学・フランス語 学・フランス語圏文化学 ※※	
言語応用学		言語応用学 (言語理論・言語応用論、言語比 較論・言語教育論等)	
表現文化学		表現文化学 (文化理論・表現文化論・表象文 化論・比較表現論等)	

※ 各専門分野とも、専門科目の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

※※ ドイツ語圏言語文化学を主として専攻する場合はドイツ語圏文学・ドイツ語学・ドイツ語圏文化学を、フランス語圏言語文化学を専攻する場合はフランス語圏文学・フランス語学・フランス語圏文化学を選択すること。

願書記入上の注意 「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照してください。

《アジア都市文化学専攻》

日時等	9月3日(水)		9月4日(木)
	10:30 ~ 12:00	13:30 ~ 16:30	13:30 ~
	筆答試験		筆答試験
専門分野	外国語(100点)	専門科目(200点) (出題分野)	口述試験 (100点)
アジア都市文化学	日本語	アジア都市文化学 (アジアの都市と文化に関 する基礎的問題)	筆答試験及び提出さ れた論文等につい て行います(一人 当たり約30分)。

※ 専門科目の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

願書記入上の注意 「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照してください。

● 理 学 研 究 科

専攻名	日 時		筆答試験	日 時		口述試験
数 物 系	9月3日 (水)	9:30 ~ 12:00	英語及び専門科目 (英語が母語とみなされる場合は、 他の試験を課すことがあります)	9月4日 (木)	10:00 ~	専攻別に専門 科目、日本語修得 の程度等につい て行います。
物質分子系						
生物地球系						

願書記入上の注意

学生サポートセンター理学研究科教務担当で相談のうえ、記入してください。

● 工 学 研 究 科

《機械物理系専攻》

10 ページの〈一般選抜〉で記載している学力試験と同様です。

《電子情報系専攻》

10 ページの〈一般選抜〉で記載している学力試験と同様です。

《化学生物系専攻》

8月20日(水)	8月21日(木)
9:00 ~ 12:00	13:00 ~
筆答試験	口述試験
英語及び応用化学・バイオ工学に関する専門科目 (英語が母語とみなされる場合は、他の試験を課す ことがあります。) (100点)	専門科目や日本語の修得状況などについて行います。 (一人当たり約20分) (100点)

願書記入上の注意

- ① 「志望専門分野名」欄の1、2に、「大学院の概要」〔別冊子〕に記載された研究テーマ番号と研究テーマ名を志望する順に記入してください。
なお、必ずしも第一志望分野に受け入れられるとは限りません。
- ② 「受験科目」欄は記入不要です。
- ③ 研究指導教員名は、事前相談をおこなったうえで記入してください。

《都市系専攻》

11 ページの〈一般選抜〉で記載している学力試験と同様です。

※ 願書記入について不明な点があれば、学生サポートセンター工学研究科教務担当で相談のうえ、記入してください。

● 生活科学研究科

入学志願者は、志望する専門科目の選択にあたっては、「大学院の概要」〔別冊子〕を参照の上、志望専門科目の教員に必ず事前に相談してください。志望専門科目の担当教員連絡先は、学生サポートセンター生活科学研究科教務担当（裏表紙参照）に問い合わせてください。ただし、臨床心理学コースは6月24日(火)16:30より事前説明会を行いますので、その場で相談してください。

《生活科学専攻》

履修 コース名	8月26日(火)			8月27日(水)
	10:00 ~ 11:30	12:30 ~ 14:00	14:30 ~ 16:00	10:00 ~
	筆答試験			口述試験
日時等				
	<専門>	<外国語>	<基礎>	
食・健康科学	志望する専門科目を 1科目選択 食品微生物学 栄養医科学 栄養教育学 公衆栄養学 生体情報学 病態栄養学 臨床栄養学 給食経営管理論 生化学 食品衛生科学 生体機能学	英語 (本研究科が用意する 「英和辞書」のみ使用 できます)	次の4科目から 1科目選択 化学 生化学 解剖生理学 生物学	志望する専門について 行います。 (一人当たり約10分)
居住環境学	志望する専門科目を 1科目選択 まちづくり学 住生活学 ハウジング 居住文化史 居住空間設計学 居住福祉計画学 住居人類学 医療福祉環境設計学 居住人間工学 居住環境工学 居住環境調整材料学 居住環境材料感性学 住居構工法	英語 (本研究科が用意する 「英和辞書」のみ使用 できます)	次の3科目から1科目を 選択 居住システムデザイン学 (住居学・計画学に関する 問題) 居住福祉デザイン学 (住居・施設設計学、人間 工学、安全工学に関する 問題) 居住エコロジー環境学 (居住材料・構造学、居住 環境工学に関する問題)	志望する専門について 行います。 (一人当たり約10分)
総合福祉科学	志望する専門科目を 1科目選択 社会福祉学 共生福祉社会学 ワークライフバランス政策学 先端ケア学 家族政策論 コミュニティ福祉学	英語 (本研究科が用意する 「英和辞書」のみ使用 できます)	次の1科目必須 福祉基礎1 (社会学・心理学・ 教育学・経済学・社 会福祉学に関する 問題)	志望する専門について 行います。 (一人当たり約10分)
臨床心理学	志望する専門科目を 1科目選択 発達臨床心理学 心理臨床学 高齢期臨床心理学 周産期家族臨床学 教育臨床学	英語 (本研究科が用意する 「英和辞書」のみ使用 できます)	次の1科目必須 心理学2	志望する専門について 行います。 (一人当たり約10分) ◎口述試験は、26日 (火)の筆答試験の結果 により指定した者のみ 行います。該当者は、 27日(水)9:30に生活科 学部棟で発表します。

※合否判定は、各科目100点満点の4割以上かつ全科目合計点6割以上の者の中から、口述試験を含めて総合的に行います。

願書記入上の注意

次の共通①～④及び各コースの⑤に従って記入してください。

【コース共通】

- ①「志望専攻名」欄に志望する履修コース名を記入してください。
- ②「志望専門分野名」欄の1に研究テーマを、2に専門科目を、3に担当教員(指導を希望する教員)名を記入してください。
※研究テーマ・専門科目及び担当教員名は「大学院の概要」[別冊子]に記載されています。
- ③受験科目「専門」欄の1に筆答試験<専門>欄より上記②と同じ専門科目を記入してください。
- ④受験科目「外国語」には記入する必要がありません。

【食・健康科学コース】

- ⑤受験科目「基礎」欄の1に、食・健康科学コースの<基礎>から1科目を選んで記入してください。

【居住環境学コース】

- ⑤受験科目「基礎」欄の1に、居住環境学コースの<基礎>から1科目を選んで記入してください。

【総合福祉科学コース】

- ⑤受験科目「基礎」欄には記入する必要がありません。

【臨床心理学コース】

- ⑤受験科目「基礎」欄には記入する必要がありません。

※臨床心理学コース……臨床心理士養成指定大学院の「更新手続中」のため、平成27年度本コースに入学し、必要な単位を修得のうえ修了した者は、臨床心理士受験資格取得できる「予定」です。

7 受験上・修学上の配慮を希望する者の出願について

障がい等を有する等の理由により、本学の受験上・修学上の配慮を希望する者は、平成26年7月10日(木)までに、志願する研究科教務担当に申し出て相談してください。

なお、平成26年7月11日(金)以降においても、可能な限り対応いたしますが、できる限り7月10日(木)までに申し出てください。

8 合格者発表等について**(1) 合格者発表**

掲示・本学ホームページにより合格者の発表をおこないます。

研究科	日時(掲示・HP掲載期間)	場所(掲示)
経営学研究科	9月24日(水)10:00～9月30日(火)17:00	各研究科の 指定する場所
経済学研究科	8月21日(木)10:00～8月27日(水)17:00	
法学研究科	9月9日(火)10:00～9月15日(月)17:00	
文学研究科	9月26日(金)10:00～10月2日(木)17:00	
理学研究科	9月17日(水)10:00～9月23日(火)17:00	
工学研究科	9月5日(金)10:00～9月11日(木)17:00	
生活科学研究科	9月9日(火)10:00～9月15日(月)17:00	

本学ホームページでの合格発表

本学ホームページ(<http://www.osaka-cu.ac.jp/>)の『入試情報』に、合格者受験番号の一覧を掲載します。なお、いずれの発表方法についても電話等による合否の照会には一切応じません。

また、「合格者受験番号一覧表」の送付を希望する者は、受験票送付時に同封されている「受験上の注意」で案内しますので、確認してください。

※経済学研究科・文学研究科を受験した者については、合格発表日に「合格者受験番号一覧表」を発送します(返信用封筒を用意する必要はありません)。

(2) 合格通知書

合格発表日に、各研究科の指定する場所において、「合格通知書」及び「入学手続書類の交付について」をお渡しします。その際には「受験票」の提示が必要です。なお、合格者本人による書類の受け取りができない場合は、事前に学生サポートセンター各研究科教務担当へ連絡してください。

経済学研究科・文学研究科に合格した者には、合格発表日に、「合格通知書」及び「入学手続書類の交付について」を発送します(手渡しでの書類交付はありません)。

9 入学手続

入学手続日は、下記の日程でおこないます。研究科で入学手続日が異なりますので、ご注意ください。

①生活科学研究科

日時 平成26年10月3日(金) 10:00~15:00 (ただし、12:00~12:45を除く)
場所 入学手続の場所は、別途合格者に通知します。

②経営学研究科・経済学研究科・法学研究科・文学研究科・理科学研究科・工学研究科

日時 平成27年3月26日(木) 10:00~15:00 (ただし、12:00~12:45を除く)
場所 入学手続の場所は、別途合格者に通知します。

10 学 費

現行の金額は次のとおりですが、平成27年度入学者の金額については変更されることがあります。

入学料	納付区分	「大阪市住民及びその子」注	222,000円
		「その他の者」	342,000円
授業料		年間 535,800円	(前期分 267,900円)

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用されます。

注1 「大阪市住民及びその子」とは、入学者本人又は入学者本人と同一戸籍にある父母のいずれかが、平成26年4月1日以前から引き続き大阪市内に住所を有する者をいい、「入学料納付区分認定」の手続を行う必要があります。

日本国籍を有しない者も同一の要件です。

2 「大阪市住民及びその子」に該当する者は、本学所定の「入学料納付区分認定願」及び「住民票などの公的書類(平成27年3月中に交付を受けたもの)」を提出して入学料納付区分認定を受ける必要があります。詳細は入学手続書類交付日にお渡しする「入学料・授業料」を必ず参照してください。なお、入学料納付区分認定を受ける者は、認定を受けてから入学料を納付してください。

※納付された入学料については払い戻しいたしません。

また、授業料の減免の制度があります。詳細については、国際センター(TEL 06-6605-3558)において別途お知らせします。

11 注意事項

※14ページに記載の<一般選抜>「11 注意事項」を参照してください。

ただし、15ページの「2 出願資格(4)(5)」による出願者で、当該研究科の定めた資格要件を満たさなかった場合は、本試験に合格しても入学を許可しません。

また、入学手続に際して、**わが国に居住している保証人が必要**です。

過去の試験問題は、学生サポートセンター各研究科教務担当で閲覧できます。詳細は、学生サポートセンター各研究科教務担当にお問い合わせください(裏表紙参照)。

<出願資格審査について>

一般選拔出願資格(6)、(7)〔1ページ参照〕に該当する者が対象です。
外国人留学生特別選拔出願資格(4)、(5)〔15ページ参照〕

1. 出願資格審査申請期限

平成26年7月9日(水) 【消印有効】

2. 出願資格審査申請書等送付先

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138 大阪市立大学学生サポートセンター〇〇研究科教務担当
(受験を志望する研究科あてに送付してください〔裏表紙参照〕。)

3. 出願資格審査申請書類

① 出願資格審査申請書 本学所定用紙

② 最終学歴に関する証明書

○ 一般選拔出願資格(6)の者
外国人留学生特別選拔出願資格(4)の者

・成績証明書
・在学証明書
・指導教官の推薦書(厳封したもの)

○ 一般選拔出願資格(7)の者
外国人留学生特別選拔出願資格(5)の者

・最終出身学校の成績証明書
・卒業(修了)証明書
・最終出身学校の学則及びシラバス、又はこれに相当するもの(コピー可)

③ 職務経歴又は学力に関する書類 (提出を求める場合があります)

④ 志望理由書 (提出を求める場合があります)

⑤ その他、本人の希望により、上記以外の証明書・論文・作品・資料等を添付することを認めます。

4. 出願資格審査 各研究科の選考方法による。

5. 出願資格審査結果通知方法 出願締め切り日の1週間前までに郵送(速達)で通知。
(ただし、理学研究科については別途連絡します。)

6. 出願資格認定有効期限 当該年度、当該研究科限り。

7. 出願資格審査申請書請求方法

※ 平成26年7月9日(水)【消印有効】までに必ず必要書類をそろえて申請できるように、出願資格審査申請書の請求は早めに行ってください。

① 直接窓口で受領する場合

学生サポートセンター各研究科教務担当で受領してください。

月～金曜日(土、日、祝日を除く)

9:00～17:00(ただし12:00～12:45を除く)

② 郵送で請求する場合

ア 請求する封筒の表に「大学院出願資格審査申請書請求」と「赤色」で書き、裏には差出人の郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入。

イ 返信用封筒(92円分の返信用切手を貼り、受取人の郵便番号・住所・氏名を明記した定形封筒)を同封。

ウ 請求先：〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

大阪市立大学学生サポートセンター〇〇研究科教務担当

(志望する研究科あてに請求してください〔裏表紙参照〕。)

<社会人特別選抜学生募集の概要>

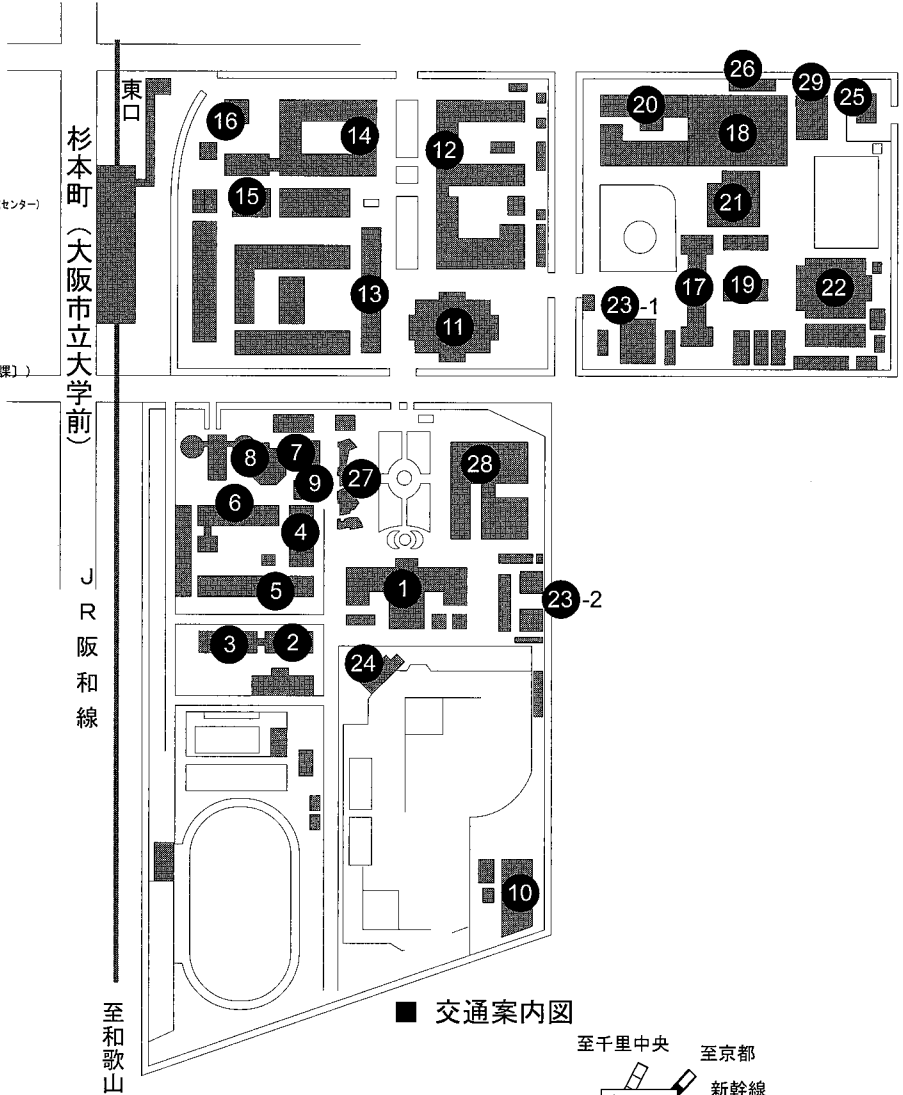
研究科名	経営学研究科	経済学研究科	法学研究科	文学研究科	理学研究科	生活科学研究科	
専攻名	グローバルビジネス	現代経済	法学政治学	哲学歴史学 人間行動学 言語文化学 アジア都市文化学	物質分子系	生活科学	
募集人員	10	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	
出願資格	次のいずれかに該当すること (1) 大学を卒業した者及び平成27年3月までに卒業見込みの者 (2) 学位授与機構又は大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び平成27年3月までに授与される見込みの者 (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者、及び平成27年3月までに修了見込みの者 (4) 昭和28年文部省告示第5号をもって文部大臣の指定した者 (5) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が別に定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び平成27年3月までに修了見込みの者 (6) 平成27年3月まで、大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、当該研究科において所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者 (7) 当該研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成27年3月31日現在において22歳以上の者(経済学研究科は、満30歳以上の者)						
	(A及びBの両条件を充たす者又はCに該当する者)	上記A(1)～(5)の出願資格取得後に、社会人として当該プロジェクト・テーマに関連した実務経験を有する者。上記A(6)に該当する者で、当該プロジェクト・テーマに関連した実務経験を有する者。	平成27年3月31日現在において上記(1)～(7)の出願資格取得者で、満30歳以上の者。	平成27年3月31日現在において上記(1)～(5)の出願資格取得後に、3年以上の職業その他の社会的実務経験を有すること。(6)、(7)については、別途出願資格認定が必要。	平成27年3月31日現在において上記(1)(2)(3)(4)(5)(7)の出願資格取得者で、3年以上の職業その他の社会的実務経験を有すること。	平成27年3月31日現在において上記(1)～(7)の出願資格取得者で、3年以上の職業その他の社会的実務経験を有すること。	平成27年3月31日現在において上記(1)～(7)の出願資格取得者で、3年以上の職業その他の社会的実務経験を有すること。
	C	平成27年3月に大学卒業見込みの者で当該プロジェクトに関連した実務経験を有する者。					
出願書類配付時期	10月上旬	6月中旬	6月中旬	6月中旬	11月下旬	6月中旬	
出願期間	12月中旬	A選抜:7月22日～25日 B選抜:9月2日～5日	7月22日～25日	7月22日～25日	1月上旬	7月22日～25日	
学力試験	1月中旬	A選抜:8月6日7日 B選抜:10月28日	8月21日	9月3日・4日	2月中旬	8月26日	
合格発表	1月下旬	A選抜:8月21日 B選抜:11月25日	9月9日	9月26日	2月下旬	9月9日	
選考方法	職務経歴書、志望動機書及び研究計画書等、出願書類の内容並びに口述試験の成績を総合して行います。	A選抜:筆答試験並びに口述試験の成績及び出願書類の内容を総合して行います。 B選抜:第1次選考は「研究テーマの概要」等の書類審査、第2次選考は口述試験を行います。	研究計画書などの書類審査、専門科目1科目の筆答試験及び口述試験により行います。	筆答試験並びに口述試験の成績及び出願書類の内容を総合して行います。	筆答試験並びに口述試験の成績及び出願書類の内容を総合して行います。	研究計画書などの書類審査、筆答試験(専門分野1科目・英語)及び口述試験により行います。	

※ 社会人特別選抜による入学者についても、一般選抜による入学者と同様に昼間課程(夜間課程はありません)となりますが、夜間にも履修できるようにするなど、さまざまな便宜を図っている研究科もあります。詳しくは各研究科が発行している前期博士課程社会人特別選抜学生募集要項を参照してください。募集要項の請求方法は、裏表紙下欄を参照してください。

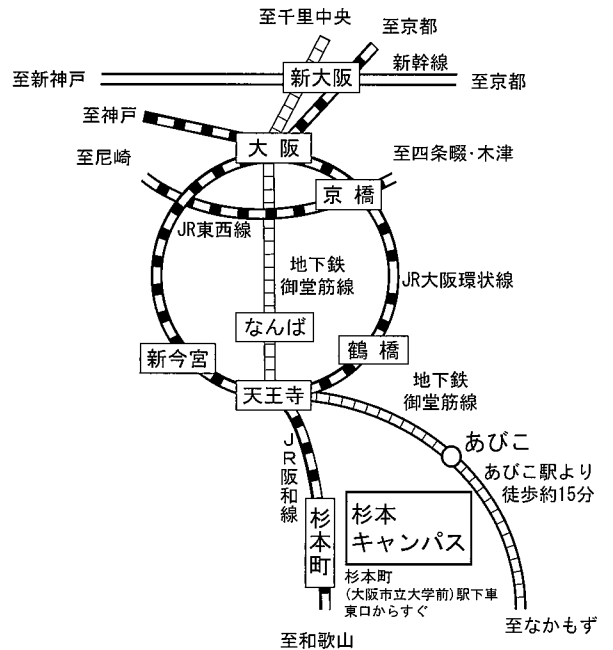
■ 杉本キャンパス

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138
 JR「杉本町(大阪市立大学前)」駅下車、東口からすぐ
 地下鉄御堂筋線「あびこ」駅下車、4号出口より南西へ徒歩約15分

- ① 1号館 (事務室〔職員課、経営管理課、学務企画課、研究支援課、第2部事務室〕)
- ② 商学部棟
- ③ 経済学部棟
- ④ 法学部棟
- ⑤ 文学部棟
- ⑥ 経済研究所棟 (創造都市研究科、人間問題研究センター、証券研究センター)
- ⑦ 都市研究プラザ
- ⑧ 田中記念館
- ⑨ 保健管理センター
- ⑩ 河海工学実験場
- ⑪ 学術情報総合センター (大学史資料室、事務室〔企画総務課、学術情報総合センター運営課〕)
- ⑫ 理学部棟
- ⑬ 工学部棟
- ⑭ 生活科学部棟
- ⑮ 工作技術センター
- ⑯ 児童・家族相談所
- ⑰ 2号館
- ⑱ 全学共通教育棟 (事務室〔学生支援課〕)
- ⑲ 4号館
- ⑳ 基礎教育実験棟
- ㉑ 第1体育館
- ㉒ 第2体育館
- ㉓-1 第1学生ホール
- ㉓-2 第2学生ホール
- ㉔ 硬式野球場スタンド
- ㉕ ゲストハウス
- ㉖ 新産業創生研究センター
- ㉗ 高原記念館
- ㉘ 学生サポートセンター
- ㉙ 共通研究棟



■ 交通案内図



● 問い合わせ先

◆専攻・分野・受験科目・過去問題等

学生サポートセンター		〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138
経営学研究科教務担当	TEL 06-6605-2203	FAX 06-6605-3649 〔各研究科共通〕 (FAX でお問い合わせの際は、必ず 志望研究科名を明記してください。)
経済学研究科教務担当	TEL 06-6605-2251	
法学研究科教務担当	TEL 06-6605-2303	
文学研究科教務担当	TEL 06-6605-2353	
理学研究科教務担当	TEL 06-6605-2504	
工学研究科教務担当	TEL 06-6605-2651	
生活科学研究科教務担当	TEL 06-6605-2803	
◎受付時間 月～金曜日(土、日、祝日を除く) 9:00～17:00 (ただし、12:00～12:45を除く)		

◆出願手続等

大阪市立大学大学運営本部入試室	TEL 06-6605-2141
-----------------	------------------

出願書類の請求方法 (郵送希望者)

- 1 封筒の表に「赤色」で「大学院〇〇研究科前期博士課程(修士課程)学生募集要項請求(一般選抜・外国人留学生特別選抜)」と記入
- 2 返信用封筒(封筒の表に「ゆうメール」と「赤色」で記載のうえ、300円分の返信用切手を貼り、受取人の郵便番号・住所・氏名を明記したもの〔角形2号(24.0cm×33.2cm)〕を同封してください。
- 3 請求先 〒558-8585 大阪市住吉区杉本3丁目3番138号
大阪市立大学大学運営本部入試室



大阪市立大学
OSAKA CITY UNIVERSITY

大学運営本部 入試室

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3丁目3番138号
平成26年6月発行